

南城市

シルバー人材センター

通信

創刊号

平成20年
5月13日発行

編集発行
南城市シルバー
人材センター
Tel.098-852-6655

会員数
(5月1日現在)

107名

受注件数
(4月分)

15件

受注金額
(4月分)

454,355 円

就業人日
(4月分)

104 人日

センター事業開始!!



▲ 作業に取り組むシルバー会員

「依頼してよかった」

平成二十年四月から、南城市
シルバー人材センターは、事業

を開始しました。契約第一号は、南城市内の公園清掃。その後も続々と見積もり依頼があり、四月は、十五件の契約を結びました。
職種は、床の張替え、屋敷やお墓の草刈、自動車のワックス掛け、花壇の手入れ等、多種多様にわたり、発注者は民間や業者、南城市となっています。
作業後は、多くの発注者から「依頼してよかった」との声が相次ぎ、就業した会員のなかには、就業したときに初めて会ったにも関わらず、お互いに意気投合している姿が見られました。

シルバー通信 発刊によせて



理事長
大湾政松
(親慶原)

センターでは、四月から事業を開始しました。そのため、センターの広報活動の一環として、本通信を発刊いたします。会員の働きぶりに、多くの発注者からお褒めの言葉をいただき、センターの船出が順調であることをご報告します。

これもひとえに、会員及び関係者の皆様のお陰であり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。
このシルバー通信が、会員相互の親睦及びセンターの発展に寄与していただければ幸いです。

作業後



作業前



シルバー広場



大城米勝さん
(船越)

「久しぶりに仲間と働きました」

「みんなで働くのは久しぶりでした。なれない作業で疲れましたが、仲間と働けて楽しかったです。
拝み(うがみ)の達人、車に木を載せる達人、木を切る達人。センターの会員さんには、いろいろな達人がいて、この歳になってあらためて勉強をしました。次の就業機会が待ち遠しいです。」

事務局だより

日々新進

めまぐるしく時は過ぎて行く、スタートして早一月が経過した。

頭で理解してもイザ実践となると容易な業ではない、将に試行錯誤の日々であった。仕事の受注、現場確認、見積書・請書作成、就業実施等々、デスクワークのみでは理解出来ない現実がある。

一〇〇余名の会員の世話役、地域との架け橋役として事務局一同切磋琢磨、更なる研鑽を積み、事務局の充実とセンター業務の拡充発展に努める決意である。(知念)

☆☆☆☆

就業開始して早一月、見積り依頼の電話に終われ、一息つく暇もない事務局ですが、会員さんが楽しく仕事している姿や、発注者からの喜びの声を聞くたびに、シルバー人材センターの役割と責任は大きいと実感しています。
これからも、地域の担い手として、明るく、元気なシルバー人材センターを目指していきます。(屋我)